

妙田下水処理場No.1 最終沈殿池設備更新工事

1. 施設整備概要

延岡市では、平成 29 年 3 月に策定した延岡市下水道事業経営戦略に沿い、耐用年数を超過している施設について計画を立てて更新を進めているところであります。

本工事で更新予定の妙田下水処理場No.1 最終沈殿池内の汚泥掻寄機は設置から 42 年経過し、耐用年数を超過しており老朽化が進んでいるため、該当設備の更新を予定しているところであります。

本更新工事着手にあたり、市民の皆さまから意見を募集し、今後の事業の参考にさせていただきたいと考えております。

※最終沈殿池とは、下水道で処理した汚水を貯め、汚泥を沈殿させ、上澄み水と分ける施設です。上澄み水は消毒して基準値をクリアした水として放流し、沈殿した汚泥は最終的には脱水・堆肥化等を行います。

2. 位置図



3. 工事内容

機器名称	工種	台数
汚泥掻寄機（メイン）	機械設備	1 基
汚泥掻寄機（クロス）	機械設備	1 基
終沈スカムスキマ	機械設備	2 基
終沈スカムスキマ現場操作盤	電気設備	1 面

4. 事業費

184,000 千円

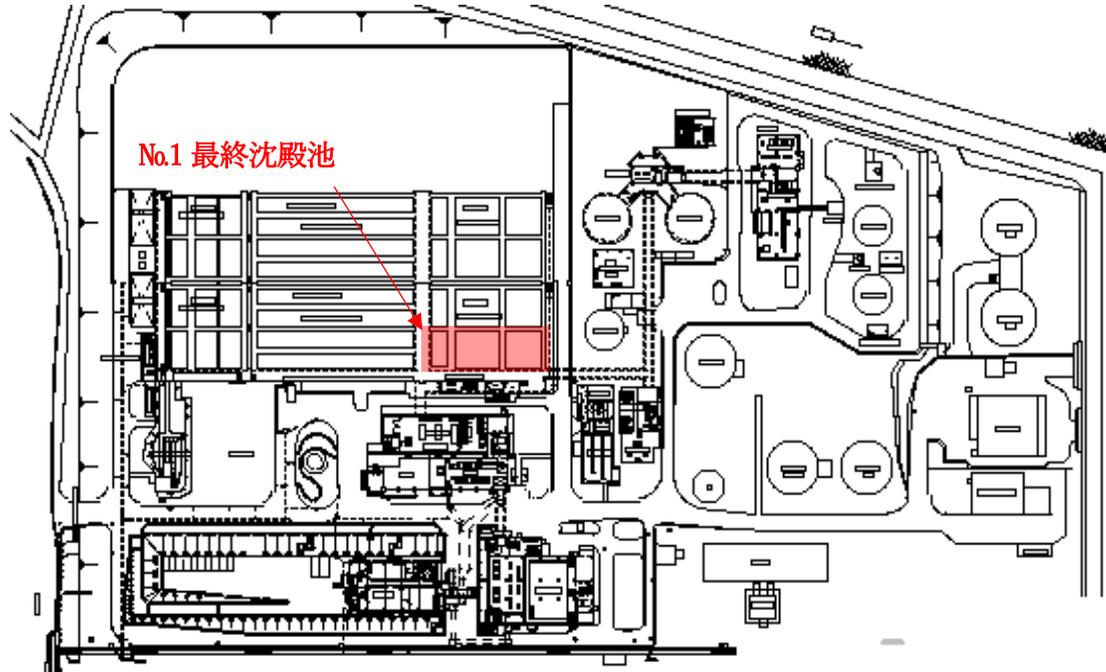
5. 維持管理費

(1年当り)

	定期補修費	電気料金	機器詳細
更新前	2,750 千円	97 千円	SUS チェーン掻寄機
更新後(見込み)	1,233 千円	67 千円	浮上型掻寄機

※機器の見直しにより、定期補修費を約 50%・電気料金を約 30%削減できます。

6. 妙田下水処理場全体図



7. 平面図・断面図

